

課題対応取組報告書

名称	旭区東部包括支援センター				
提出日	令和	7	年	6	月 30 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等 ☐ 認知症高齢者等の支援 ☐ その他 ()	☐ 社会資源の創設 (居場所づくり等) ☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症など多くの課題を抱える世帯を早期発見し、多職種で支える地域づくり	
地域ケア会議から 見えてきた課題	① 令和5年度開催の地域ケア会議は、高齢者自身が認知症を抱えたケースが100%であった。認知症や精神疾患による判断力低下や、金銭管理困難に加えて、経済問題や家族の抱える課題、キーパーソン不在など、課題が重複することで、世帯全体として支援困難となる傾向がみられる。そのため、課題が重複する前に要援護者を早期発見・早期対応できるような地域づくりを行う必要がある。 ② 重複した課題に対応するためには、それぞれの課題に対応できる専門職が連携して対応していくことが必要であるため、高齢者支援機関だけでなく、障がい専門機関等、様々な専門機関と連携できる地域づくりが求められる。	
対象	圏域内の地域住民、地域関係者、専門職	
地域特性	圏域内に大阪3大商店街とも呼ばれる「千林商店街」があり、それに連動する京阪沿線から発展してきた歴史がある。圏域内の高齢化率は上昇傾向にある。地域関係者による見守りや関わりが積極的に行われており、地域関係者と地域の相談窓口との連携が取れている。	
活動目標	① 要援護者の早期発見・早期対応のため、広く地域住民に認知症や相談窓口について知ってもらうとともに、より身近な環境で相談できる機会を確保する。 ② 認知症の人に関わる専門機関や、高齢分野以外の専門分野の多職種ともネットワークを強化し、ともに学ぶ機会も確保しながら、ケース対応時の連携を円滑に進めるとともに、新たな要援護者の早期発見にも繋げていく。	
活動内容 (具体的取組)	① より身近な地域で認知症や相談窓口について知り、その場で相談もできるよう、旭区認知症強化型地域包括支援センター（以下「強化型包括」という）と連携して「認知症講演会＆ちょこっと相談会」を地域の会館で開催する。また、旭区内の地域包括支援センター（以下「包括」という）と協働し、支援者や地域住民を対象として認知症講演会、認知症映画上映会などを開催し、認知症をより身近なものとして知る機会を確保する。 ②-1 旭区医師会や強化型包括が開催する、認知症支援ネットワーク構築のための会議や、旭区役所や障がい関係機関と連携して開催する、高齢・障がい支援ネットワーク構築のための会議、つながる場の連携会議などへの参加・協力を行い、要援護者への支援を円滑に連携して行っていけるよう、日頃より関係づくりを行っていく。実際に要援護者を支援する際は「つながる場」や「地域ケア会議」も活用して支援しながら、多職種連携体制の強化も図っていく。 ②-2 多機関の専門職と認知症について学べる講座を旭区医師会や強化型包括と協働して開催するとともに、旭区内包括、介護支援専門員や相談支援専門員等と連携した事例検討会も開催する。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	① 太子橋地区にて、地域住民向けに「認知症講演会＆ちょこっと相談会」を強化型包括と開催。認知症の理解をより深く周知する機会になったと考える。また、旭区内3包括と強化型包括と連携して認知症講演会、認知症映画上映会を開催することで、認知症をより身近に感じてもらえる機会となった。 ②-1 認知症等高齢者支援地域連携事業、認知症初期集中支援推進事業関係者会議や旭区自立支援協議会・高齢・障がい部会などに定期的に参加することにより連携を強化することができた。また、地域ケア会議16回（うち、つながる場4回）の開催を通じて、多職種との支援体制構築につながった。 ②-2 介護支援専門員向けに、認知症研修「つながろう ひろげよう あさひ区の輪」を強化型包括と開催。認知症や精神疾患について共に学びながら、参加者同士が関係づくりを行う機会となった。また、介護支援専門員と相談支援専門員等との事例検討会も協働して開催し、連携を深めた。	

今後の課題	① 包括について、幅広い世代や機関等への周知を継続する必要がある。 ②-1 認知症等高齢者を支援する地域関係者や専門職との連携強化を、今後も図っていく必要がある。 ②-2 「認知症や精神疾患があり、重複した課題を抱えたケース」についての相談が多いことから、認知症等の勉強会の機会や、支援者同士のつながりを深める機会を継続的につくる必要がある。
※以下は、区運営協議会事務局にて記入	
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日(木)
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・要介護者の早期発見・早期対応のため、地域住民等に対する認知症の正しい理解の普及を目的とした相談会や講演会など認知症をより身近なものとして知る機会を確保されており、「地域性」「継続性」「浸透性・拡張性」のある活動であると評価できる。 ・認知症関連の会議や自立支援協議会等を活用し、関係機関との連携強化を図るとともに「つながる場」を含めた地域ケア会議を通じて支援体制の構築に取り組んでいる。介護支援専門員向けの研修や事例検討会を開催することで共に学びながら関係づくりができる機会を設けるなど、関係機関との連携やネットワーク構築に尽力されており、それらの取組は5つの視点すべてに該当すると考える。